

シルバー厚生年金基金の制度移行に関する システム対応（概要説明）

2020/8/20 Ver.1.1



はじめに

- 以下では、シルバー厚生年金基金の制度移行に関する経理・給与システムの修正点について説明します。
- 今回の資料では、主に給与システムの給与基本台帳、月例給与に関する変更点について説明しております。
企業年金基金に関しては、期末勤勉からは事業主、加入者ともに掛金の控除がないため、変更はありません。
年末調整の変更については、後日ご案内させていただく予定です。
- 制度移行の内容や手続きについては、全国シルバー人材センター厚生年金基金様へお問合せください。
- システム対応内容については、今後変更になる可能性があります。

1. 給与システムについて

職員基本台帳（登録画面）の変更点

- 給与基本台帳の[控除]タブに企業年金基金の本人／事業主負担分の項目が追加になります。
- 8月分の給与支払後に、厚生年金基金の控除額を削除し、企業年金基金に掛金率をもとに計算した控除額を設定してください。

【職員給与基本台帳登録】- エイジレス80 給与

職員情報管理(A) 月例給与(B) 期末勤勉(C) 差額(D) 年末調整(E) 統計(F) 年度処理(G) 管理(H) オプション(X) スペシャル(Z)

職員番号 氏名

基本属性 支給 控除 特記事項 カルテ 支払方法

控除：月例給与

標準報酬月額	240,000		住民税年額	
児童手当拠出金	480		住民税6月	7,200
	本人	事業主	住民税7月以降	6,580
健康保険	13,980	13,980	財形貯蓄(月)	
介護保険	2,250	2,250	その他課税後①	
厚生年金	16,587	16,587	その他課税後②	
厚生年金基金	10,500	15,000	その他課税後③	
企業年金基金			退職金掛金	
職員互助会費	2,000	2,000		
福利厚生利用料				

互助会借入金

返済開始年月	令和	回数	
返済終了年月	令和	備考1	
借入金総額		備考2	
月次返済額			

企業年金基金を追加。
項目名は管理（H）＞支給控除項目等
名称変更で変更可能です。

1. 給与システムについて

職員基本台帳（帳票）の変更点

■ 職員給与基本台帳や職員データエクセル変換にも、企業年金基金の項目が追加になります。

職員給与と基本台帳

令和 2年 8月24日作成 1 / 1頁

職員番号 2 氏名 野村 花子

< 職員属性 >		< 支給：月例給与 >		< 控除：月例給与 >		< 支払方法1 >	
氏名カナ	ノムラ カナ	給与月額@ (月給)	255,200	標準報酬月額	240,000	支払区分	現金
性別	女	管理職手当	0	児童手当拠出金	480	月例給与支払方法	全額
郵便番号	128-4567	扶養手当@	0	本人 事業主	0	期末勤続支払方法	全額
住所1	東京都新宿区新宿 3-3-3	地域手当@	37,004	健康保険	13,980	振込区分	
住所2	新宿御苑マンション	住居手当@	0	介護保険	2,250	仕向区分	
電話番号1	080-1234-567	その他手当①	0	厚生年金	16,587	金融機関名	
電話番号2		その他手当②	0	厚生年金基金	0	支店名	
生年月日	昭和40年10月10日	その他手当③	0	企業年金基金	2,400	預金種目	
入社年月日	平成10年10月10日	課税交通費	100	職員互助会費	2,000	口座名義人	
退職年月日		非課税手当	0	福利厚生利用料	0	口座番号	
提出先市町村		非課税交通費	12,900	住民税年額	0	< 支払方法2 >	
住所コード	9876543	住民税 6月		7,200	支払区分		
< 計算条件 >		住民税 7月以降		6,580	月例給与支払方法		
部署コード	総務課	財形貯蓄(月)	0	0	期末勤続支払方法		
形態区分	正職員	その他課税後①	0	0	振込区分		
貸金区分	月給	その他課税後②	0	0	仕向区分		
税上扶養	2	休日課税後③	0	0	金融機関名		
税区分	乙	休日深夜残業単価	0	0	支店名		
職層コード	管理職以外	超勤手当④単価	0	退職金掛金	0	預金種目	
職名		超勤手当⑤単価	0	< 互助会借入金 >		口座名義人	
月例給与支払日	10 日	超勤手当⑥単価	0	返済開始年月	0	口座番号	
雇用保険	有	超勤手当⑦単価	0	返済終了年月	0	< 支払方法3 >	
労災保険	有	その他手当①	0	借入金総額	0	支給区分	
一般拠出金	有	その他手当②	0	月次返済額	0	月例給与支払方法	
厚生年金	有	その他手当③	0	返済回数	0	期末勤続支払方法	
健康保険	有	非課税手当	0	備考1	0	振込区分	
介護保険	有	< 控除：期末勤続 >				仕向区分	
等級		財形貯蓄(夏)		0	金融機関名		
号級		財形貯蓄(冬)		0	支店名		
< 社会保険番号 >		その他課税後1		0	預金種目		
健康保険	備考	その他課税後2		0	口座名義人		
厚生年金	備考	その他課税後3		0	口座番号		
厚生年金基金	備考						
支給事由発生年月 平成15年 2月				控除事由発生年月 平成14年 2月			

企業年金基金を追加。

職員データエクセル変換の出力項目にも追加します。
設定変更結果を一覧でチェックするのに活用いただけます。

	A	B	BK	BL	BM	BN	BO	BP	BQ	BR	BS	BT	BU	BV	BW	BX	BY	BZ
1	職員番号	氏名漢字	標準報酬月	児童手当拠出金	健康保険	介護保険	厚生年金	厚生年金	企業年金基金 (本人)	職員互助会	福利厚生利	健康保険	介護保険	厚生年金	厚生年金	企業年金基金 (事業主)	職員互助会	福利厚生利
2	2	野村 花子	240000	480	13980	2250	16587	0	2400	2000	0	13980	2250	16587	0	6480	2000	0

1. 給与システムについて

月例給与（画面）の変更点

- 職員給与基本台帳で設定した控除額が、月例給与計算をかけると控除されます。
- 月例給与計算結果変更画面では、控除タブに本人負担分、事業主負担分の計算結果が反映されます。

職員番号 2 氏名 野村 花子 部課コード 総務課 形態区分 正職員

支給 控除 職員を選択してください。

部課コード 形態区分

氏名 職名
2 野村 花子

控除額					
健康保険	介護保険	厚生年金	厚生年金基金	雇用保険	社保控除合計
13,980	2,250	16,587		1,831	34,648
課税前控除	課税対象額	所得税	過不足税	住民税	企業年金基金
	257,656	36,180		6,580	2,400
財形貯蓄	職員互助会費	福利厚生利用料	互助会返済金	その他課税後①	その他課税後②
	2,000				
その他課税後③	控除合計	差引支給額			
	81,808	223,396			

備考

事業主負担分

健康保険	介護保険	厚生年金	厚生年金基金	児童手当拠出金
13,980	2,250	16,587		480
雇用保険	労災保険	一般拠出金		
2,747	1,373	15		
職員互助会費	福利厚生利用料	退職金掛金	企業年金基金	
2,000			6,480	

計 1 名

本人負担分／事業主負担分の月例給与計算結果が控除タブに反映されます。

1. 給与システムについて

月例給与帳票（給与明細書）の変更点

- 企業年金基金の本人負担分の項目が給与明細に追加になります。

令和 2年 9月分 給与明細書（控）										受領印
支給年月日：令和 2年10月15日										
部署コード	職員番号	部署氏名				超勤① 超勤②	超勤③ 超勤④	超勤⑤ 超勤⑥	超勤⑦ 超勤⑧	
0001	2	総務課 野村 花子 殿				0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
支	給与月額④	管理職手当 扶養手当④	地域手当④ 住居手当④		普通残業 深夜残業	休日残業 休日深夜残業	超勤手当⑤ 超勤手当⑥	超勤手当⑦ 超勤手当⑧		
	255,200		97,004							
	その他手当① その他手当②	その他手当③	課税交通費		非課税手当	非課税交通費			支給合計	
			100			12,900			305,204	
控	健康保険 介護保険	厚生年金 厚生年金基金	雇用保険	社保控除合計	課税前控除				課税対象額	
	13,980 2,250	16,587	1,831	34,648					257,656	
	所得税	住民税	企業年金基金	財形貯蓄 職員互助会費	福利厚生利用料 互助会返済金	その他控除① その他控除②	その他控除③		控除合計	
	36,180	6,580	2,400	2,000				81,808		
										差引支給額
										223,396

公益社団法人見本市シルバー人材センター

企業年金基金を追加。

1. 給与システムについて

月例給与帳票（支給控除一覧表、エクセル変換）の変更点

- 支給控除項目を確認するための一覧表やエクセル変換結果にも企業年金基金を追加します。

< 支給控除一覧表 >

支給控除一覧表(月例給与)		
正職員 対象年月: 令和 2年 9月		
職員番号	野村 花子 ²	合計1人
支給年月日	(10/15)	
給与月額	255,200	255,200
管理職手当		
扶養手当		
地域手当	37,004	37,004
住居手当		
普通残業		
深夜残業		
休日残業		
休日深夜残業		
超勤手当⑤		
超勤手当⑥		
超勤手当⑦		
超勤手当⑧		
その他手当①		
その他手当②		
その他手当③		
課税交通費	100	100
非課税手当		
非課税交通費	12,900	12,900
支給合計	305,204	305,204
健康保険	13,980	13,980
介護保険	2,250	2,250
厚生年金	16,587	16,587
厚生年金基金		
雇用保険	1,831	1,831
社保控除合計	34,648	34,648
課税前控除		
課税対象額	257,656	257,656
所得税	36,180	36,180
過不足税		
住民税	6,580	6,580
企業年金基金	2,400	2,400
財形貯蓄		
職員互助会費	2,000	2,000
福利厚生利用料		
互助会返済金		
その他課税①		
その他課税②		
その他課税③		
控除合計	81,808	81,808
差引支給額	223,396	223,396
勤務日数		
勤務時間数		
超勤①		
超勤②		
超勤③		
超勤④		
超勤⑤		
超勤⑥		
超勤⑦		
超勤⑧		

企業年金基金を追加。

< 支給控除データエクセル変換 >

	A	B
1		
2	正職員	
3	対象年月: 令和 2年 9月	
4	職員番号	2
5	氏名	野村 花子
6	支給年月日	10/15
7	給与月額	255,200
8	管理職手当	
9	扶養手当	
10	地域手当	37,004
23	課税交通費	100
24	非課税手当	
25	非課税交通費	12,900
26	支給合計	305,204
27	健康保険	13,980
28	介護保険	2,250
29	厚生年金	16,587
30	厚生年金基金	
31	雇用保険	1,831
32	社保控除合計	34,648
33	課税前控除	
34	課税対象額	257,656
35	所得税	36,180
36	過不足税	
37	住民税	6,580
38	企業年金基金	2,400
39	財形貯蓄	
40	職員互助会費	2,000

1. 給与システムについて

月例給与帳票（事業主負担分集計表、支出科目別集計表）の変更点

- 事業主負担分集計表にも項目追加します。
- 支出科目別集計表は、退職給付費用に計上されます。

事業主負担分集計表（月例給与）												
正職員 対象年月：令和 2年 8月		令和 2年 8月24日作成 1 / 1頁										
No. 氏名	健康保険	介護保険	厚生年金	厚生年金基金	児童手当拠出金	雇用保険	労災保険	一般拠出金	職員互助会費	福利厚生利用料	退職金掛金	企業年金基金
2野村 花子	13,980	2,250	16,587	0	480	2,747	1,373	15	2,000	0	0	6,480
合 計	13,980	2,250	16,587	0	480	2,747	1,373	15	2,000	0	0	6,480

企業年金基金を追加。

正職員

対象年月：令和 2年 8月

支出科目別集計表（月例給与）

令和 2年 8月24日 作成

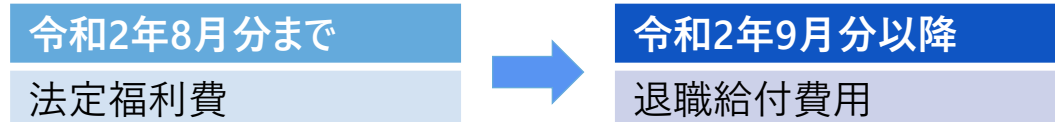
企業年金基金は「退職給付費用」に計上されます。

職員基本給	255,200 円	管理職手当	0 円
職員諸手当	50,004 円	超過勤務手当	0 円
退職給付費用	6,480 円	非課税手当	0 円
その他手当①	0 円	福利厚生費	2,000 円
その他手当②	0 円	法定福利費	37,432 円
その他手当③	0 円		

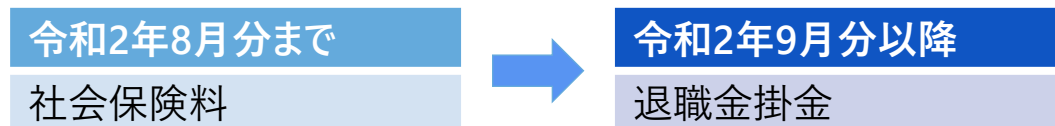
使用科目の変更

- 使用科目の変更点（以下、「全シ協 令和2年度科目標準留意点（センター用）」より引用）
令和2年9月に新制度（総合型DB制度）へ移行予定である厚生年金基金の事業主負担分については、新制度移行前は「法定福利費」ですが、移行後は「退職給付費用」（確定給付企業年金保険料）に変更となります。
なお、国庫補助金申請上は、新制度移行前は「社会保険料」ですが、移行後は「退職金掛金」となります。

<経理科目>



<補助金科目>



- 経理システムでの対応

経理科目、補助金科目ともに出荷済のため、利用するための設定確認を行ってください。
（今回の制度変更に関するバージョンアップはありません。）

<経理の科目設定>

事業費、管理費それぞれに「退職給付費用」が用意されておりますので、科目使用の設定を確認してください。

<補助金管理オプションの設定>

補助金連動設定の確認（未設定の場合は連動設定の変更）をしてください。

「退職金掛金」の補助金予算が未設定の場合は、補助金予算変更等で設定してください。

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right, arching over the text. The bottom swoosh is a solid blue bar, also arching under the text.

Share the Next Values!